2021 年度

標準化活動報告書



2022年5月

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA) 標準化センター

はじめに

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会(以下、JBMIA)の標準化活動に関する「2021 年度 標準化活動報告書」を発行いたします。

コロナ禍は、2年を過ぎ、未だウィズ/ポストコロナ時代が見えませんが、デジタルトランスフォーメーションの動きは加速し、世界規模でAIや IoT を活用したイノベーションの活性化や、SDGs の達成に向けた積極的な貢献、ESG 経営促進への取組みなど、大きく急激な環境変化が進んでいます。

この過程に生じた社会的課題の解決手段として、経済産業省は、「標準化はその課題の解決を促進し、産業の国際競争力を強化していく上で、大きな役割を担っており、特に「成長戦略」で、産業の国際市場での優位性を確保するため、戦略的に行うことの重要性」を明確に位置づけています。

JBMIA の取り組む重点テーマに、「SDGs の推進に貢献するグローバルな事業展開」、「社会環境の変化への迅速な対応」があります。

これらの政策と連携して標準化センターは、政策をサポートしこれに関わる「標準化」を 創出できる組織を構築している段階です。

JBMIA の理念である

「ビジネス機械・情報システムの継続的な革新を通じて、新しいワークスタイルを提案し、 活力あるグローバル社会を創る」

これからも、この理念に沿い取り組むべき重要テーマの"標準"の探索と創出を進めてまいります。

本報告書をご高覧いただき、JBMIA、及び標準化センターでの標準化活動に対して皆様の 忌憚のないご意見を伺うことができれば幸いです。

標準化センター センター長田谷 真明

目 次

		~~~	ジ
1	標	<b>準化センターの機能と役割</b> ········5	
2	標	<b>準化センターの活動概況</b> 6	
	2.1	<b>標準化会議/運営委員会</b> · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	2.2	JBMS 推進専門委員会 ······8	
	2.3	ユーザーインターフェイスデザイン・プロジェクト (UIDP)8	
	2.4	アクセシビリティ・プロジェクト (ACPJ)	
	2.5	<b>画像保存性 WG</b> ························11	
	2.6	<b>紙評価標準化 WG</b> ···········12	
	2.7	標準化分科会	
	2.8	標準化分科会 12   表示分科会 13	
	2.9	<b>ヒューマンセンタードデザイン専門委員会(HCD)</b> 14	
	2.A	JIS 原案作成委員会 ······14	
3	ISO	O 情報技術国内委員会の活動概況 ····································	
	3.1	JTC1/SC17	
	3.	1.1 JTC1/SC17 関連 DCI 委員会·························16	
	3.2	JTC1/SC28 ·	
	3.3	JTC1/SC35 ·	
	3.	3.1 JTC1/SC35 関連 NFO 委員会 ······ 19	
4	他	の委員会・部会の標準化活動	
	4.1	中国標準化対応検討会	
	4.2	情報セキュリティ委員会	
	4.3	プリンター・複合機部会	
	4.4	<b>データプロジェクター部会</b> ·······23	
	4.5	<b>デジタル印刷機部会</b> ·······24	
	4.6	環境委員会	
	4.	<b>6.1 エミッション評価法検討 WG</b> 24	
	4.	<b>6.2 騒音規格検討 WG</b> ····································	
	4.7	大判インクジェットプリンター部会 基本仕様記載項目標準化分科会27	
	4.8	技術委員会 安全専門委員会 消費生活用製品安全法対応 WG ······28	
	4.9	<b>シュレッダ部会</b> ···········28	
	4.10		
ß	ໄ属書		
ß	属書	<b>B</b> JBMS 制定 • 改正実績 ····································	
14	-	<b>LC TD 制定・改正宝績</b>	

附属書 D	JBMIA が原案作成団体となっている JIS41
追補	44



## 1 標準化センターの機能と役割

# 1.1 標準化会議/運営委員会

協会内の標準化活動の可視化と共有化を推進、標準化センターの活動実績の取りまとめ と運営、及び中期活動指針に沿った施策立案と展開を行う。

#### 1.2 JBMS 推進専門委員会

JBMS(協会規格)及び JBMIA-TR(協会テクニカルレポート)の制定・改正・見直し結果を審議し、公開と管理を行う。

#### 1.3 ユーザーインターフェイスデザイン・プロジェクト (UIDP)

ビジネス機器、及びシステムのユーザーインターフェイスの標準化を通じて、使いやすい環境を提供する。

# 1.4 アクセシビリティ・プロジェクト (ACPJ)

事務機器のアクセシビリティに関わる標準・規制の調査、及び開発を行う。

#### 1.5 画像保存性 WG

プリンター関連市場の環境変化に伴い、コンシューマ/ビジネスを中心に商業印刷分野まで関連した標準の策定活動を行う。

#### 1.6 紙評価標準化 WG

JBMS-88 の周知・運用により、紙粉発生の少ない MFP 用紙の普及を促し、ユーザーの MFP 利用と生産性を高める。

# 1.7 標準化分科会

プリンター製品の仕様書様式と表示の共通化を行う。

#### 1.8 表示分科会

製品仕様の表示方法の共通化を行う。

#### 1.9 ヒューマンセンタードデザイン専門委員会 (HCD)

各社の HCD 活動への共通課題の抽出と HCD・UXD 浸透活動への課題を明確にする。

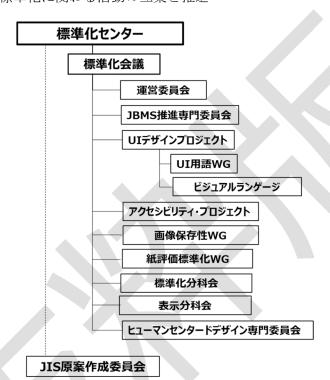
#### 1.A JIS 原案作成委員会

JBMIA が原案作成団体として制定した JIS 規格について、「産業標準化法」に基づき 5 年 定期見直しによる改正、廃止を管理、並びに新規の JIS 規格制定を担う。

### 2 標準化センターの活動概況

標準化センターは、「お客様の利便性の向上と会員企業の事業拡大を目指した標準化活動を推進する。」ことを役割とした組織であり、具体的には以下のことを実施している。

- 協会内標準化活動の可視化と情報の共有化推進
- ・ JBMS/JBMIA-TR 制度の運営
- ・ 標準化プロジェクト活動の実施
  - 共通テーマの連携統合で標準化分科会、表示分科会、HCD との新体制検討
- ・ その他、標準化に関わる活動の立案と推進



標準化センターの体制

		参加企業									オブザーバー						
	キヤノン	京 セ ラ D S	ミノルタ	シャープ	エプソン	東芝テック	B 富士 フイルム	プラザー工業	ובע	理想科学工業	沖電気工業	村田機械	その他	アドバイザー	≣†		
①標準化会議	3	1	3	2	1	3	4	2	5	1				1	26		
②運営委員会	2	1	2	1	1	1	3	1	1	1				1	16		
③JBMS推進			1				1		1						3		
④画像保存性	2		1		1		1	1	1					1	8		
⑤紙評価標準化	1	1	1	1	1	1	1		1	1			7*	1	17	*新潟大学、王子製紙、三菱製紙、新東科学、電通交際情	
@ACPJ	1	1	1	2	1	2	1	1	1						11	報サービス、有識者	
<b>②UIDP</b>	1		2				1	1	1						6		
®VLWG	1	1	2	1	1		1		1						8		
⑨UI用語WG	1	1	2	1	2	1	1		1						10		
⑩標準化分科会	1	1	1		1		1	1	1						7		
⑪表示分科会	1	1	1	1	1	1		1	1		1	1			10		
@HCD	1	1	2	1		1	1	1	1	1				1	11	2022年5月14日時点	
企業計	15	9	19	10	10	10	16	9	17	4	1	1	7	5	133	2022年3月14日时总	

登録企業と委員数